東北地方のインフラDXを牽引する新たな拠点が誕生！

国土交通省
東北地方整備局

東北地方整備局では、官民連携による東北未来「働き方・人づくり改革プロジェクト」を推進する拠点として、東北インフラDX人材育成センター及び東北インフラDXルームを令和5年3月28日に開所しました。

東北インフラDX人材育成センター（東北技術事務所内）

建設生産プロセス（測量・設計、施工、維持管理）におけるインフラDX推進に向けた人材育成を図るため、発注者（地方公共団体含む）及び受注者に対する3次元データ・デジタル技術の知識習得（研修・実習等）を目的とします。あわせて、東北インフラDXルームとの連携により、インフラDXの情報発信を図ります。

開所式

人材育成ルーム

シミュレータブース

東北インフラDXルーム（東北地方整備局 企画部内）

高速通信網の整備とルーム内のWi-Fi化により、映像や資料等の共有を効率化するとともに高い臨場感で業務遂行するなど、データとデジタル技術によるインフラ分野での技術革新等の促進を図ります。また、デジタル技術を活用した情報収集・情報共有ツール導入し、災害現場等への技術支援や情報連携を強化します。

お披露目式

DXルームⅠ

DXルームⅡ

東北インフラDX人材育成センター（東北技術事務所内）

国土交通省
東北地方整備局

建設生産プロセス（測量・設計、施工、維持管理）におけるインフラDX推進に向けた人材育成を図るため、発注者（地方公共団体含む）及び受注者に対する3次元データ・デジタル技術の知識習得（研修・実習等）を目的とする。

あわせて、東北インフラDXルームとの連携により、インフラDXの情報発信を図る。

● VR・MRなどのデジタル技術活用に対応した
研修・セミナーの高度化により人材育成。

※R5_新規カリキュラムによる研修・セミナーがスタート

■ 体験施設の活用イメージ

VR技術／DX体験スペース

・コンピュータによる3D映像を重ねて表示するデジタル技術等を体感・体験。

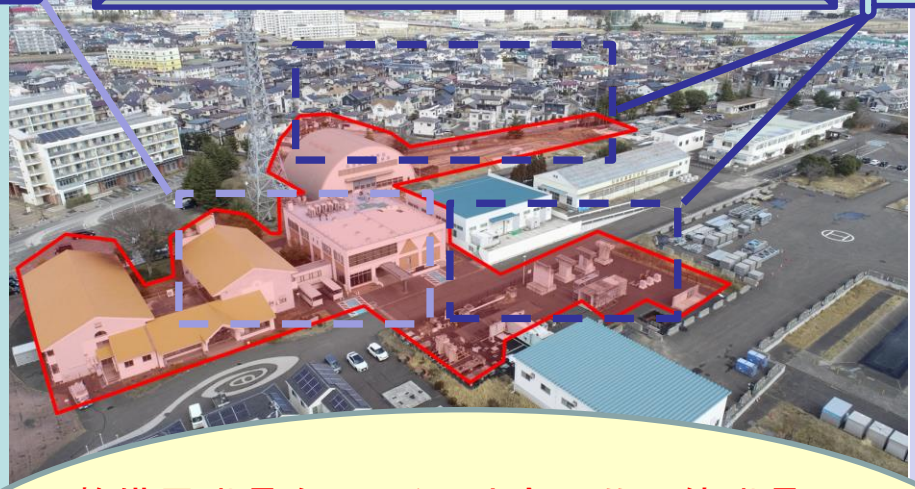
除雪機械 運転シミュレータ体験

・経験年数が浅い除雪オペレータ等を対象に、除雪作業を実践感覚で操縦訓練。

東北インフラDX人材育成センターでできること

国土交通省
東北地方整備局

東北インフラDX人材育成センター



整備局職員をはじめ、地方公共団体職員、民間事業者も対象に、インフラDX関連の各種技術を習得する場として活用し、建設業界におけるDXの推進・普及拡大を図ります。

屋内施設

人材育成ルーム

3次元点群のデータ処理や3次元CADソフトの操作をスムーズに行うことができる高性能PCを備えており、3次元モデルの新規設計や現況地形（構造物）の3次元モデル化などの技術を学習することができます。

DX・プレゼンルーム

大型モニタや電子黒板を活用したプレゼンテーション能力向上学習、災害現場の写真データ転送及び変状確認（土量算出）訓練、遠隔臨場による出来形確認訓練等が行えます。

XRブース

VR（仮想現実）による河川氾濫シミュレーションや道路構造・機械設備内部構造の臨場感あふれる映像を用いた学習ができます。

シミュレーターブース

除雪グレーダ及びバックホウのシミュレータを備えており、各機械の基本操作の習得のほか、除雪作業及び土砂掘削時の安全上の留意点を学習することができます。

屋外施設

UAV訓練施設

ドローンの操縦訓練及び空中写真撮影の訓練を非熟練者でも屋内で安全に行うことができます。

無人化施工エリア

遠隔操縦式バックホウやロボQs（簡易遠隔操縦装置）により、バックホウでの掘削や揚重作業の遠隔操縦（目視・非目視）訓練ができます。

体験型河川堤防等実習施設／体験型土木構造物実習施設

AR（拡張現実）を用いた河川堤防やコンクリート構造物等の構造学習や、MR（複合現実）を用いた出来形確認の学習ができます。

東北インフラDXルーム （東北地方整備局 企画部内）

【設置目的】

インフラDXを推進する拠点として「東北インフラDXルーム」を整備局内に設置し、高速通信網の整備とルーム内のWi-Fi化により、映像や資料等の共有を効率化するとともに高い臨場感で業務遂行するなど、データとデジタル技術によるインフラ分野での技術革新等の促進を図る。

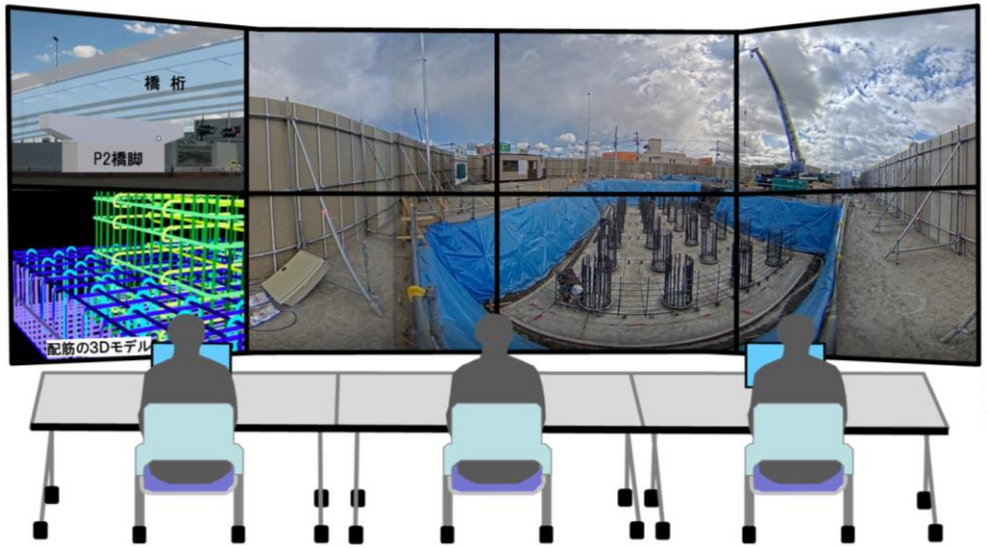
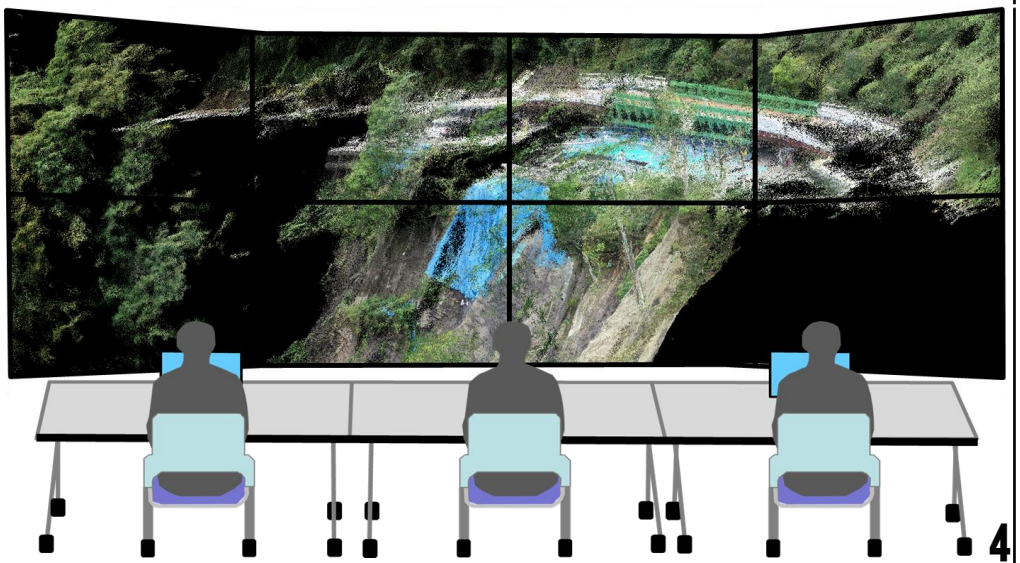
また、デジタル技術を活用した情報収集・情報共有ツールを導入し、災害現場等への技術支援や情報連携を強化する。

● VRやMR、ドローン等を活用し、現地の状況や施工シミュレーション・完成形の確認を実際の場所で見ているかのような「新現場空間」をDXルームに再現する。

※ DXルームの完成イメージ

■ 8面マルチモニターの活用イメージ

橋梁下部工現場を可視化（VR・MR等の活用）



3次元点群データを用いて災害現場を可視化